第2学年 生活科 学習指導案

児童 男子11名 女子13名 計24名指導者 加藤 由美子場所 2年教室

1 単元名 まちのなぞなぞしりたいね

2 単元について

本単元は、学習指導要領の内容(4)「公共物や公共施設はみんなのものであることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切にし、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。」を受けて設定したものである。地域にある公共施設を訪れたり、利用したりする中で、そこにはみんなが気持ちよく安全に使えるようにしてくれる人々がいることや施設があることで生活が豊かになっていることに気づき、それらを安全に正しく利用できるようにすることをねらいとしている。本単元の学習においては、その利用に関することを中心にして、地域とのかかわりに関することを関連付けて扱い、人々とのふれあいを通して子ども達が公共施設についての意識を高めていくようにしたい。そして、その中から生まれる子どもの知的な気づきが深まるようにしたいと考える。

子ども達は、春の町探検で学校の近くの店や公共施設を探検した。この探検では、地域の人とのふれあいを重視し、自分と地域の人々とのかかわりについて学習した。初めての町探検であったが、子ども達は進んであいさつをしたり質問したりするなど、意欲的に活動することができた。また、探検して分かったことや感じたことを新聞や紙芝居にまとめて発表会をし、自分と地域の人々とのかかわりに気づくことができた。

本単元で学習する公共施設の利用について、公民館や図書館を利用したことがあると答えた子どもは半数以上であったが、郵便局や駅を利用したことがあると答えた子どもは少なかった。また、親と同伴で利用した子どもがほとんどであり、その施設のことや利用の仕方を知っている子どもは少ない。

本単元では、公共施設の探検を2回行う。1回目の探検では、まず、その公共施設は何をするところなのか、そこで働いている人や利用している人はどんな人なのかという視点を与えて見学させる。そして、1回目の探検で分からなかったことややってみたいと思ったことなどを話し合い、次の探検へとつなげていく。2回目の探検では実際に利用者になり、その施設で利用のしかたを教わりながら正しく利用できるようにするとともに、働いている人や利用している人との交流を深めることができるようにする。そのためには、計画を立てるときに、自分はその施設で何をしたいか、何を質問したいかなどを明確にする。挨拶や質問の仕方を練習して、一人ひとりが自信をもって、出会った人々と積極的にかかわれるようにしたい。また、見学する際のマナ・や交通安全などについて確認し合い、約束を守って探検させたい。

発表会では、公共施設で体験したことを発表したり、気づいたことや質問して分かったことなどをクイズにしたりして、子ども達の知的な気づきを深めるようにしたい。発表の方法については、新聞や紙芝居、ペ・プサ・ト、劇などの方法を示し、グル・プごとに話し合わせた上で選ばせたい。

3 単元の目標

- (1)【生活への関心・意欲・態度】
 - ・地域にある公共施設に関心をもち、そこで働く人々や利用する人々に進んでかかわろうとする。
 - ・公共施設を大切にし、進んで正しく利用しようとする。
- (2)【活動や体験についての思考・表現】
 - ・公共施設のことやその施設の利用の仕方について課題意識をもって、進んで調べることができる。
 - ・公共施設を利用して気づいたこと、また、施設で働く人々や利用する人々と交流して楽しかったことなどを自分なりの方法で表現することができる。

(3)【身近な環境への気づき】

- ・公共施設がみんなのために役立っていることやそこで働く人々の役割に気づく。
- ・公共施設や公共物の利用のしかたが分かり、正しく利用することの大切さに気づく。

4 単元の主な評価規準

平成16年度生活科・総合的な学習年間計画 2年 P5 参照

5 指導計画(22時間)

平成 1 6 年度生活科・総合的な学習年間計画 2 年 P 5 ~ 7 参照 本時 1 2 / 2 2

6 本時の指導

- (1)目標【活動や体験についての思考・表現】
 - ・公共施設を利用して分かったことや気づいたことの中から何をみんなに伝えるか、自分なりの 考えをもつことができる。

(2)研究主題とのかかわり

課題設定段階

・探検時の写真を提示し、町探検で発見したことや感動したことなどを想起させ、早くみんなに 伝えたいという気持ちをもたせる。

ふり返りの段階

- ・グル プで決めたことの発表に対する感想を交流しあい、発表会への意欲をもたせる。
- ・自分や友達のがんばりについての発表から満足感をもたせる。
- ・次時は、みんなにきちんと知らせるために、感じたことや気づいたことも加えていくことを知らせ、くわしく思い出しておこうという気持ちをもたせる。

(3)展開

段階	学習内容と活動	教師の支援(・)評価()	資料等
気	1 活動のめあてをつかむ。	・町探検で発見したことや感動した	写真
ブ		ことなどを想起させ、みんなに伝	
<	みんなに教えたいことを考えよう	えようとする意欲をもたせる。	
5			
分			
	2 利用してきたことの中で、何をみ	・探検力 - ドを見せ、それぞれどん	探検力・ド
	んなに伝えるかそれぞれ考え、短	な活動をしてきたかをふり返らせ	短冊
	冊に記入する。	る 。	

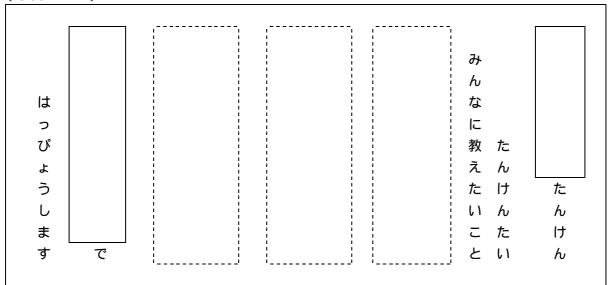
かかかわ	3	グル - プごとに、自分が書いた短冊を見せながら、伝える内容を話し合い、まとめる。(3点程度)	・リ・ダ・には、事前に話し合いの 進め方を指導しておく。 ・伝えたい理由を一人ひとりに発表 させる。(グループ)	
15			利用して分かったことや気づいた	
る			ことの中から何をみんなに伝えた	
			いか、自分なりの考えをもつこと	
			ができる。 [短冊・行動観察]	
	4	どんな表現方法で伝えるか話し合	・発表会での発表の仕方を思い出さ	新聞
		う。	せたり他の表現方法を示したりし	紙芝居
2 5			て、その中から自分達に合ったも	ペ - プサ - ト
分			のを選ばせる。	
131	5	 グル - プで決めたことを発表し合	・他のグループの発表の仕方にも関	
		う。	心を向け、自分達の発表をがんば	
IJ			ろうとする気持ちを高める。	
4	_	大味の運動をでいる。	ウハサナキのがノギコについてび	フロンドロ 十
か		本時の活動をふり返る。 ・自分の考えを進んで発表できた	・自分や友達のがんばりについて発 表させることにより、満足感と次	
え		か。	への意欲をもたせる。	'
		・友達の発表をしっかり聞き、話し	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
る		合うことができたか。		
	7	次時の活動を知る。	・友だちにきちんと教えるために、	
15		・今日決めた内容にそのときの気	くわしく思い出しておこうという	
分		持ちを加え、詳しくしていく。	気持ちをもたせる。	

(4)評価

評価規準	具体の評価規準	
【活動や体験についての		支 援
思考・表現】	十分満足	
[方法]		
・利用して分かったことや気	・利用して分かったことや気づい	・具体的な例を示したり、友
づいたことの中から何をみ	たことの中から何をみんなに伝	達の話を聞かせたりしなが
んなに伝えたいか、自分な	えたいか、自分の考えをもち、	ら、みんなに伝えたいこと
りの考えをもつことができ	積極的に話している。	を見つけさせる。
る。		
[短冊・行動観察]		

資料

(学習カード)



#	tσ	1 / 1	ぞな	マ	1.1	1 +-1	l. \ 1	n.
ᇰ	9 V.	ハム	~ /d	くて	ני ט	ノル	v 11	d I

ふりかえりカ・ド

名前(

)

月 日

- 1. みんなに教えたいことを考えることができましたか。
- 2. グループのみんなと力をあわせて そうだんしましたか。
- 3. 自分ががんばったことや友だちのよかったところを書きましょう。

生活科 年間指導計画 単元の評価規準

単元名(まちのなぞなぞしりたいね 22時間)

	評価規準	評 価 方 法	去
生活への興味・関心・態度	地域にある公共施設の探検に関心をもち、その施設で働く人や施設を利用する人と親しみをもっ てかかわろうとする。 公共施設での望ましい態度やその理由を考え、進んで正しく利用しようとする。	行動観察 発表	
活動や体験についての思考 ・表現	探検時のグル・プのきまりや仕事、質問することなどを考え、話し合うことができる。 公共施設などで働く人と交流して分かったことや楽しかったことなどを自分なりの方法で表現す ることができる。 まちの人や施設のために自分ができることを考えて、実行することができる。	記録カード 行動観察 作品	
身近な環境や自分について の気づき	公共施設がみんなのために役立っていることやそこで働く人々の役割に気づく。 公共施設や公共物を大事にし、正しく利用することの大切さに気づく。 地域の人々や様々な場所などとかかわって生活すると楽しいことに気づく。	記録カード行動観察	

月	段階	時	学 習 内 容		具体の評価	 規準			支援	備	考
				規準との対応	+	分	満	足			
9	気 づく (6)	1 - <u>2</u>	・自分のは、 は、 は、 か を は、 の まちいでの まちいでの きっこ にってが がるの がるの がるの がるるの がるるの がるるの がるるの がるるの	要思	的う みる例 探いにと んとを 検こあって のろげ 見をして したい	1	い こい 間にのは は、て いき級	知 立具る りたえ習い たんき ひりょう かんしゅう かんしゅう しゅう かんしゅう しゅう かんしゅう かんしゅ かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅう かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゃ かんしゅん かんしゃ かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゅん かんしゃ かんしゅん かんしゅん かんしゃ かんしゅん かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんし	友だちの話を聞かせながら、さいちの話を聞かせながえる。 おいまる ところ おいまる とこの はいなの生活 さい かいまる とこの おいまる とこの はい から にいる を で しょう で はい から と を で しょう の はい と を さって から の を で で しょう の も で で で で で で で で で で で で で で で で で で	八幡公月 45-3 町立図書 45-2	535 館 011
		3 . 4 . 5	いさつや質問の練習をする。 ・いろいろな公共施設を探検する。 (1回目)	 関	知そにと公子をいていてねる設てたった。	うりと様づいします。 いと様づいまます。	たていい	ことを を も。 した した した した した した した した した した した した した		45-2 石鳥谷郵 45-2	006 8便局

			<u>-</u>	<u> </u>
	6	・公共施設を探検して、気づいたこと、やってみたいこと、疑問に思ったことなどを発表する。	思	探検をして気づいたこと、興友だちの発表を聞かせながら、 味をもったこと、疑問に思っ探検をして気づいたことや疑問 たことなど、積極的に発表しに思ったことなどを発表させ ている。
10	7	・自分の興味関心をもとに探検場所 (利用するところ)を決める。	関	行き先やそこに行きたい理由、友だちの話を聞かせながら新し 質問したいことなど、自分の い発見への期待を持たせ、行き 考えを積極的に話している。 先を考えさせる。
かか	8	・グル・プごとに探検の計画を立て る。 探検のときのきまりを確認したり ・あいさつや質問の練習をしたりす る。	関思	したいことや質問したいこと、友だちの話を聞かせながら、自用意するものなどを具体的に考え、積極的に話し合おうとしている。 している。 あいさつや質問の練習を進んでしようとしている。 せる。
わ る (5)	9 . 10	・公共施設を探検する。(2回目) (実際に利用する。)	要 関 気	知りたいことを質問したり、 その場で気づいたことを新たにたずねたりして、進んで人 と関わろうとている。 公共施設の利用の仕方が分かり、きちんとあいさつや質問 をしながら利用しようとしてように声をかける。
	11	・気づいたことや分かったことをカ - ドにまとめる。	思	おもしろいな、すごいなと思 探検に行ったことを思い出さ うことや分かったことなどを せ、感じたことや質問をして分 たくさん見つけ、絵や文に分 かったことなどをカ・ドにまと かりやすく表すことができる。 めさせる。
13	12	・みんなに知らせたいことを、どの ように発表するか話し合う。	思	何をどのように発表するか具 体的に考え、自分の考えを積 をに合った方法を見つけさせる ようにする。
か え る (11)	13 · 14 · 15 · 16	・グル - プで話し合って役割分担を し、発表の準備や練習をする。	思	探検したことを紙芝居や劇、 ペ・プサ・トなどで分かりや すく工夫して表現している。 友だちと協力して進んで活動 している。
	17	・発見したことや気づいたことを発 表する。	思 気	探検して気づいたことを進ん 発表については、全員が発表に で分かりやすく発表し、友だ 携わることができるように、役

11	ızı	18	・発表会を振り返って、感じたこと などをまとめる。		ちの発表をしっかり聞いている。	割分担をきちんとさせる。 友だちの発表を聞いて、わかったことや感じたことを聞き出し、カ・ドにまとめさせる。	
	かえ	19	・まち探検を振り返り、これまでま とめたカ・ドや集めた資料等を地 図に位置づけ、完成した地図を見 て感じたことを話し合う。		極的にまちのよさをみつけ、	地図上に表現されたカ・ドを見たり、友だちの考えを聞いたり して、自分の住む町でよいと思 うところや行ってみたいところ などをみつけさせる。	
	る (11)	20	・まちの人のためや施設のために、 自分たちができそうなことを考え 話し合う。 ・自分がしたいことを決め、計画を 立てる。	思	たちができそうなことを具体 的に考え、積極的に自分の考 えを話している。	どこで、何をするか具体的に考	
		21 • 22	・まちの人のためや施設のために計 画したことを実行する。	思	自分にできることを進んで行 い、意欲的に取り組んでいる。	教師や友だちと一緒に行うよう 声をかける。	

	まち探検	(3回目)	
•	どこで、	何を見たり聞いたりしたいか話	

か	し合い、行き先を決める。	に述べている。	行き先を考えさせる。
か	・質問したいことをカ・ドにまとめる。		まち探検で自分が知りたいことを聞き出し、質問をカ・ドに書かせる。
わ る	・探検先でのあいさつや質問などを練習す る。	進んであいさつや質問を練習 している。	あいさつや質問の手順を示し、教師と子どもまたは子ど もどうしで行うようにする。
()	・まち探検をする。 高長商店・永井文化堂・長田屋	相手の状況に合わせて声をかけたり、用意していったことや自分の興味をもったことを進んでたずねてたりしている。	ちと一緒に挨拶をさせるなど して、抵抗感を減らし、用意
	・まち探検で見たり聞いたりしたことをカ ・ドにまとめる。	で、探検をして気づいたこと	メモをもとに、探検をして見 つけたことや聞いたこと、出 会った人についてわかったこ とや考えたことなどをカ・ド に書かせる。
1) 131	・発表の準備や練習をする。	ったことなどを紙芝居にわか	グル・プでどのようにまとめるか話し合わせ、役割分担をし、みんなに知らせたいことを文や絵、写真などでまとめさせる。
か え る ()	・まち探検で発見したことや気づいたことを発表する。		発表については、全員が発表 に携わることができるよう に、役割分担をきちんとさせ る。 友だちの発表を聞いて、わか ったことや感じたことを聞き 出し、カ・ドにまとめさせる。
	・発表会を振り返って、感じたことを発表する。 ・お世話になった人々に手紙を書く。	を伝えたいなどの気持ちをも	探検に行ったときのことを思 い出させ、楽しかったことや 感謝の気持ちを手紙に書かせ る。